

「出会いと学び、成長に」

南富良野高 女子I H 米山さん講演

【南富良野】女子アイスホッケー（IH）日本代表として五輪に3度出場した米山知奈さん（33）による講演会「アイスホッケーの出会いと学び」が南富良野高で開かれた。同校の1、2年生に加え、一般の参加者計約

50人が熱心に耳を傾けた。同校が力を入れるアウトドア教育の一環で、19日に実施。米山さんは日

高管内新ひだか町生まれ、苫小牧市育ち。同市で6歳からアイスホッケーを始め、五輪にはF W



アイスホッケーで得た出会いや学びについて語る米山知奈さん

上富良野町や中富良野町、占冠村、十勝管内新得町の計25チーム、約110人が参加し、熱戦を繰り広げる。市コミュニティ推進課

は「壁や廊下なども新しく、全体的にきれいななった。新しいスポーツセンターで健康増進に取り組んでもらえれば」と話している。（立木大造）

として2014年ソチ、18年平昌、22年北京の3大会に出場した。現在は母校の北海道文教大（恵庭）で助教を務めている。

今回、同大と同校が昨年7月、包括連携協定を結んだことが大きなきっかけとなり、講演会が実現した。

米山さんは講演で、長年の競技生活について触れ「プレーはもちろんだが、進路を考えたりと日々の選択が積み重なり、今の自分が出来上がった」と振り返った。「自分自身の競技生活だけでなく、仲間のためにもなるかもしれない」と管理栄養士の資格を取得するために同大に進学したことなどを説明した。

アイスホッケーを通じて得たこととして①目標を明確に定める②挑戦を楽しむ③周囲への感謝を挙げ、「今後は支える側として、出会いと学びを自分自身の成長とスポーツ界の発展につなげていきたい」と力を込めた。会場内では、日本代表

時代の米山さんのユニフォームや防具などが展示された。（千葉佳奈）

上富良野町人事（4月1日）

- ▽町民生活課長（農業振興課長兼農業振興課主幹）安川伸治▽農業振興課長兼農業振興課主幹（町民生活課長）山内智晴▽ラベンダーハイッツ所長（保健福祉課こども未来班主幹）武山義枝▽総務課財政管理班主幹（企画商工観光課企画政策班主幹）石川雅憲▽総務課基地調整・危機管理室長（建設水道課土木建設班主幹）辻秀人▽企画商工観光課企画政策班主幹（教育振興課学校教育班主幹）長谷川京史▽保健福祉課こども未来班主幹（議会事務局次長）飯村明史▽建設水道課土木建設班主幹（総務課基地調整・危機管理室長）斉藤通▽建設水道課建築施設班主幹（建設水道課建築施設班副主幹）島田久▽町立病院事務次長兼町立病院病院施設整備室長（町立病院病院施設整備室長兼事務次長）長谷川千晃
- （3月31日）▽退職 総務課財政管理班副主幹北川徳幸、建設水道課建築施設担当課長狩野寿志、会計課会計班副主幹及川光一、保健福祉課地域包括支援センター主任介護支援専門員佐藤智恵美、保健福祉課福祉対策班主任保健師鎌田理恵、保健福祉課健康推進班